

学生の学びを促す評価について考える

アクティブ・ラーニングの推進が謳われている今日、評価においても、知識の最終的な定着の度合いだけでなく、各課題を遂行する過程において身につけた知識やスキルについても総合的に評価するなど、学生の学びを促すための工夫が様々な形で施されています。しかしながら、評価の対象が多様化するに伴い、可視的でないものもその対象として含まれることがあり、評価の観点を定めることが必ずしも容易ではありません。本コロッキアムでは、アクティブ・ラーニング型授業における成績評価のあり方、また、その手法が盛んに取り入れられている語学教育における評価と授業設計の方法について学び、学生の学びを促す評価とは何かについて議論していきます。

2018.2.19 (月) 13:30-17:20

神戸大学百年記念館 国際教育総合センター・101AB

プログラム

13:00-

受付開始

13:30-13:40

開会及び趣旨説明

総合司会

朴秀娟（国際教育総合センター講師）

13:40-14:00

成績評価に関する現状の共有

14:00-15:10

「アクティブ・ラーニングを促す成績評価のあり方」

近田政博氏（大学教育推進機構教授）

基礎を知る

(ワークショップ)

15:30-16:40

「学びについての評価から学びのための評価へ

—外国語教育・日本語教育における評価と授業設計—

北出慶子氏（立命館大学文学部教授）

実践を知る

(講演)

16:40-17:10

まとめ及び振り返り

17:10-17:20

閉会挨拶：河合成雄（国際教育総合センター長）

【お申し込み】準備の都合上、**1月31日（水）**までに下記のフォームにてお申し込みください。

(当日参加も歓迎いたします。) <https://goo.gl/forms/ZNjnkamHAXifiQl82>

【お問い合わせ】神戸大学国際教育総合センター・朴秀娟研究室

E-mail: kisc-koryu@edu.kobe-u.ac.jp Tel: 078-803-5273

国際教育総合センターHP: <http://www.kisc.kobe-u.ac.jp/>



申し込みQRコード